

謝辞

本事例研究のとりまとめにあたっては、多紀 保彦 名誉教授(東京水産大学(現東京海洋大学))をはじめ、片野 修 主幹研究員(独立行政法人 水産総合研究センター 増養殖研究所内水面研究部)、谷口 義則 准教授(名城大学 理工学部環境創造学科)、細谷 和海 教授(近畿大学 農学部環境管理学科)、森 誠一 教授(岐阜経済大学 経済学部)の各先生方(並びは五十音順)、並びにオブザーバーとして水産庁増殖推進部栽培養殖課内水面班、水産庁資源管理部漁業調整課内水面調整班の指導・助言をいただいた。この場を借りて感謝申し上げます。

河川における外来魚対策検討会メンバー

(座長)

多紀 保彦 名誉教授(東京水産大学(現東京海洋大学))

(委員)

片野 修 主幹研究員(独立行政法人 水産総合研究センター 増養殖研究所内水面研究部)

谷口 義則 准教授(名城大学 理工学部環境創造学科)

細谷 和海 教授(近畿大学 農学部環境管理学科)

森 誠一 教授(岐阜経済大学 経済学部)

(オブザーバー)

水産庁増殖推進部栽培養殖課内水面班

水産庁資源管理部漁業調整課内水面調整班

(検討会事務局)

公益財団法人 リバーフロント研究所